

1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	THB127B	情報リテラシー IB	
科目名 (コード)	THB127	情報リテラシー IB	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木隆一	時間数	
成績評価教員	佐々木隆一	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	本学の教育理念に基づき、基本となるICTスキルを習得し現代社会の様々な分野で活躍することができることを目標に、基礎からスキルを積み上げ自らキャリアを形成・発展させる能力を養成。
全体の内容と概要	留学生に配慮した日本語入力の基本やタッチタイピングなどの基本操作、情報セキュリティ、WordやPowerPointの基本を学習する。尚、進捗状況により一部内容を変更する場合がある。
授業時間外の学修	タッチタイピング練習は、毎日10~30分程度自分でやる習慣をつけること。 また、余力がある人はオプションの問題にも積極的に取り組むこと。
履修上の注意事項等	通信環境の事情により、毎回事前に指定するファイルをUSBメモリにダウンロードして授業に持参すること。また、必須課題を未提出の場合は当日分が欠席扱いになるため必ず提出すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション シラバスとPC環境の把握	教材配布・座席の指定、シラバス及び目標&予定、出欠&成績評価方法、 教室内PC環境と注意点、授業の進め方、PCの起動と終了操作 他
2	情報セキュリティ	パスワードの管理、フィッシング詐欺と事例、情報セキュリティに関する動 画視聴
3	必須課題	上記授業内容(情報セキュリティ)についての課題
4	情報セキュリティ	情報セキュリティに関する問題/補足
5	文書の入力とチラシの作成	チラシの作成-文字の入力/編集 GoogleClassroom/GoogleDriveと課題提出方法/フォルダ管理
6	Word編集機能の活用 チラシの完成	チラシの作成-編集作業 表・画像・図形・ワードアートの挿入 チラシの完成-調整&印刷イメージの確認
7	Word&Excelの連携操作 レポートの作成方法①	レポート作成上のモラル・注意点など レポート作成に必要な機能(p81-98)
8	Word&Excelの連携操作 レポートの作成方法②	レポート作成と完成
9	パワーポイントの概要及び、新規 スライド作成方法	プレゼンテーションの基本(p178-185)/PowerPointの概要(p186-190)
10	ストーリーに従ったスライドの作 成ができる	スライドの作成(p191-221)
11	スライド効果と 発表前の準備について	スライドの効果(p222-234)/プレゼンテーションの準備(p235-242) 発表する際の注意点
12	パワーポイント アニメーション機能の活用	アニメーションで画像を動かす プレゼンテーション大会に向けた自由研究
13	必須課題	上記授業内容(Word/PowerPoint)の課題
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ISBN : 978-4908434358 書籍名/出版社 : Office基礎と情報モラル (Office2019対応) /noa出版
参考文献・資料等	
備考	